

山本 王者の意地で頂点

MTB「五輪へ調子上げる」 代表確定

【愛媛】3度目の五輪、意地で確実にした。マウンテンバイク(MTB)のブラジル・リオデジャネイロ五輪日本代表選考会を兼

男子エリートクラス(30・15日、愛媛県八幡浜市)クロスカントリーの山本幸平(TREK FACTORY)国際自然環境アウトドア専門学校、帯域(1周4・3キロを7周するコースで序盤にトップに立つと、懸命にスピードを上げた。五輪枠を狙うライバルたちの猛追をかわ



表彰台の中央で笑顔を見せる山本幸平(八幡浜市役所広報担当・兵頭亮さん提供)



下り坂のコースを疾走、意地の走りでも後続の追撃をかわした山本幸平(同)

た。2位と42秒71差の1時間36分41秒31で逃げ切り、3大会連続の五輪切符獲得を確定的にした。

山本は8日にタイで行われたアジア選手権で8連覇を達成。気温40度以上のレースを終えたばかりで「疲れが残っていた」と万全の状態ではなかったものの国内第一人者の意地を見せた。1周4・3キロを7周し、最後は歓喜のガッツポーズで締めくくった。「リオに向けてこれに勝たないと何も始まらないと思っていた。気持ちを崩さずに耐えてゴールできた」と山本。16日に出国し、ドイツ、フランスのワールドカップなどに出場後、調整に入る。「8月21日(の五輪本番)に向けて、1回休んでからまた調子上げていきたい」と視線は早くもリオの大舞台を見据えている。(松村智裕)